

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 21日

埼玉県知事 殿



提出者

住 所 埼玉県
氏 名 石

代 理 人
電話番号 048-522-5831

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	石井建設株式会社
事業場の所在地	熊谷市銀座7丁目12番地
計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	80,000万円
③従業員数	20人
④産業廃棄物の一連の処理工程	<ul style="list-style-type: none">・がれき類 再生処理業者へ委託 → 再生砕石として再資源化・建設汚泥 処理業者へ委託 → 焼却・木くず・混合（ガラス陶磁器屑・廃プラスチック・金属屑） 再生処理業者へ委託 → 再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括責任者
代表取締役社長

廃棄物管理責任者
工事部長

廃棄物処理責任者
工事長

現場管理責任者
工事現場監督

役割 ・ 廃棄物処理に関する検討
・ 廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認

役割 ・ 処理業者・再生利用業者の調査・選定・及び監理
・ 産業廃棄物処理に関する社員・関連会社に対する教育・啓発

役割 ・ 産業廃棄物管理票の交付・管理
・ 委託契約の締結
・ 発生量の削減・分別方法等の徹底。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (R4年度 実績)】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 分別の徹底。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 現状の分別の実施を継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（R4年度）実績】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	——	——	——
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	—— t	——	—— t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	——	——	——
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	—— t	——	—— t
	(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（R4年度）実績】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	——	——	——
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	—— t	——	—— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	—— t	——	—— t
(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	——	——	——
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	—— t	——	—— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	—— t	——	—— t
(今後実施する予定の取組)				

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（R4年度）実績】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	——	——	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	—— t	—— t	
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	——	——	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	—— t	—— t	
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（R4年度）実績】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量	t	t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t
	(今後実施する予定の取組)	
※事務処理欄		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（R4年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	木くず	混合(ガラス・陶磁器屑 廃プラスチック・金属屑)	その他がれき	石綿含有 産業廃棄物
	排出量	8533.4 t	103.3 t	1.4 t	7.7 t	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) ・ゴミの分別化(混合)							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	木くず	混合(ガラス・陶磁器屑 廃プラスチック・金属屑)	その他がれき	石綿含有 産業廃棄物
	排出量	7500.0 t	90.0 t	1.0 t	5.5 t	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・現状の取り組みを継続する。							

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（R4年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	木くず	混合(ガラス・陶磁器屑 廃プラスチック・金属屑)	その他がれき	石綿含有 産業廃棄物
	全処理委託量	8533.4t	103.3t	1.4t	7.7t	0 t	0 t
優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0t	0 t	
再生利用業者への 処理委託量	8533.4 t	0 t	1.4 t	7.7 t	0 t	0 t	
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0t	0t	
認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	103.3 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
(これまでに実施した取組) ・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施。 可能な限り排出廃棄物のリサイクルを推進してきた。							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	木くず	混合(ガラス・陶磁器屑 廃プラスチック・金属屑)	その他がれき	石綿含有 産業廃棄物
	全処理委託量	7500.0 t	90.0m ³	1.0 t	5.5 t	0 t	0 t
優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
再生利用業者への 処理委託量	7500.0 t	0 t	1.0t	5.5 t	0 t	0 t	
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	90.0t	0 t	0 t	0 t	0 t	
(今後実施する予定の取組) ・引き続き排出廃棄物のリサイクルを推進する。 ・委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。							

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
①現状	【前年度（R4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	蛍光管	残土		
	排出量	0 t	0 t		
	(これまでに実施した取組) ・ ゴミの分別化（混合）				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	蛍光管	残土		
	排出量	0 t	0t		
	(今後実施する予定の取組) ・ 現状の取り組みを継続する。				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
①現状	【前年度（R4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	蛍光管	残土		
	全処理委託量	0 t	0 t		
	優良認定処理業者への 処理委託量	0t	0t		
	再生利用業者への 処理委託量	0t	0t		
	認定熱回収業者への 処理委託量	0t	0t		
	認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	0t		
(これまでに実施した取組) ・ 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施。 可能な限り排出廃棄物のリサイクルを推進してきた。					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	蛍光管	残土		
	全処理委託量	0k	0t		
	優良認定処理業者への 処理委託量	0t	0t		
	再生利用業者への 処理委託量	0t	0t		
	認定熱回収業者への 処理委託量	0t	0t		
	認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	0t		
(今後実施する予定の取組) ・ 引き続き排出廃棄物のリサイクルを推進する。 ・ 委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。					